



2023年
法人化



2025年

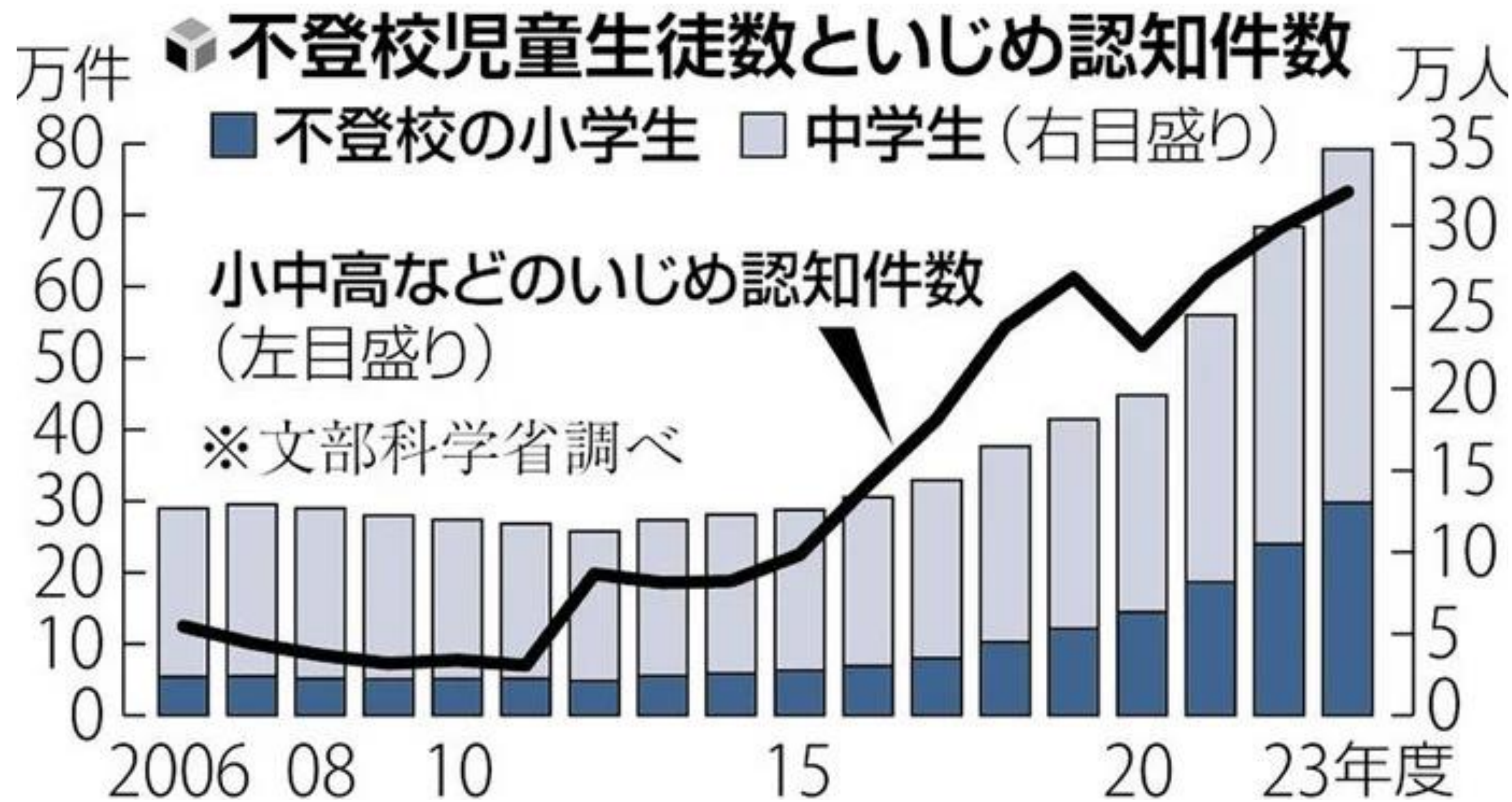
現在4年目
卒業生15名



小学生～高校生までが対象です。学校の出席日数としてカウントできるよう希望の方には学校へ話に行きます。

2021年
4月設立

開校日 月曜日～木曜日 9:00～15:30



フリースクールに通う理由

大きく 2 パターンに分けられます

義務教育復帰を目指すご家庭

いじめを受けたことが原因で学校に行けなくなり、フリースクールで義務教育復帰を目指します、子ども達にとって一度いじめを受けた場所に戻るという事はそう簡単なことではありませんが、フリースクールで新たな人間関係を築きコミュニケーション能力を高め、自信がつけば、復帰の可能性はどんどん上がっていきます。

学びの多様性を求めたご家庭

義務教育と保護者側の意見が合わなかった場合や、義務教育の学習指導に疑問を抱いているご家庭が学びの多様性を求めフリースクールをご利用の方がいらっしゃいます。フリースクールあんしゃでは英語、PCの授業、人との対話スキル向上を得意としております。



いじめ

耐えがたいストレス

子ども達の世界では、極端ではありますが学校と家が彼らの世界です、その世界しか知らないが故、小さな学校の小さいいじめでも彼らにとっては非常に重要な問題です。

フリースクールは子どもにとって 新たな世界

いじめを受け、追い詰められ、最終的に命を絶つ子もいます。しかし、世界は広いという事を知っていれば逃げる事が出来る、そして心の支えにもなります。フリースクールはいじめを受け追い詰められてしまった子の心の治療をする場所でもあると考えております。

私が考える理想の流れ

教育委員会、学校と民間のフリースクールとで協力

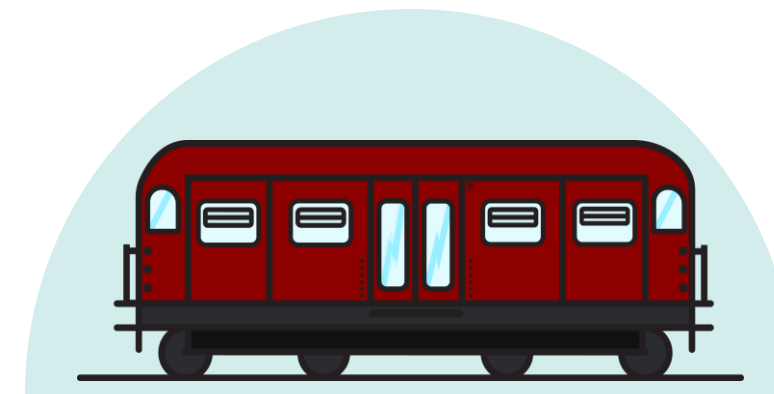


いじめ

いじめにあい学校に行けなくなってしまう、その後家に引きこもってしまう。

不登校になってしまった場合、無理に復帰を迫ると、両親までが心身共に疲弊しているケースも多々ある。子どもの生活リズムが崩れる前に、各フリースクールの情報を提供。

学校から提案



フリースクール

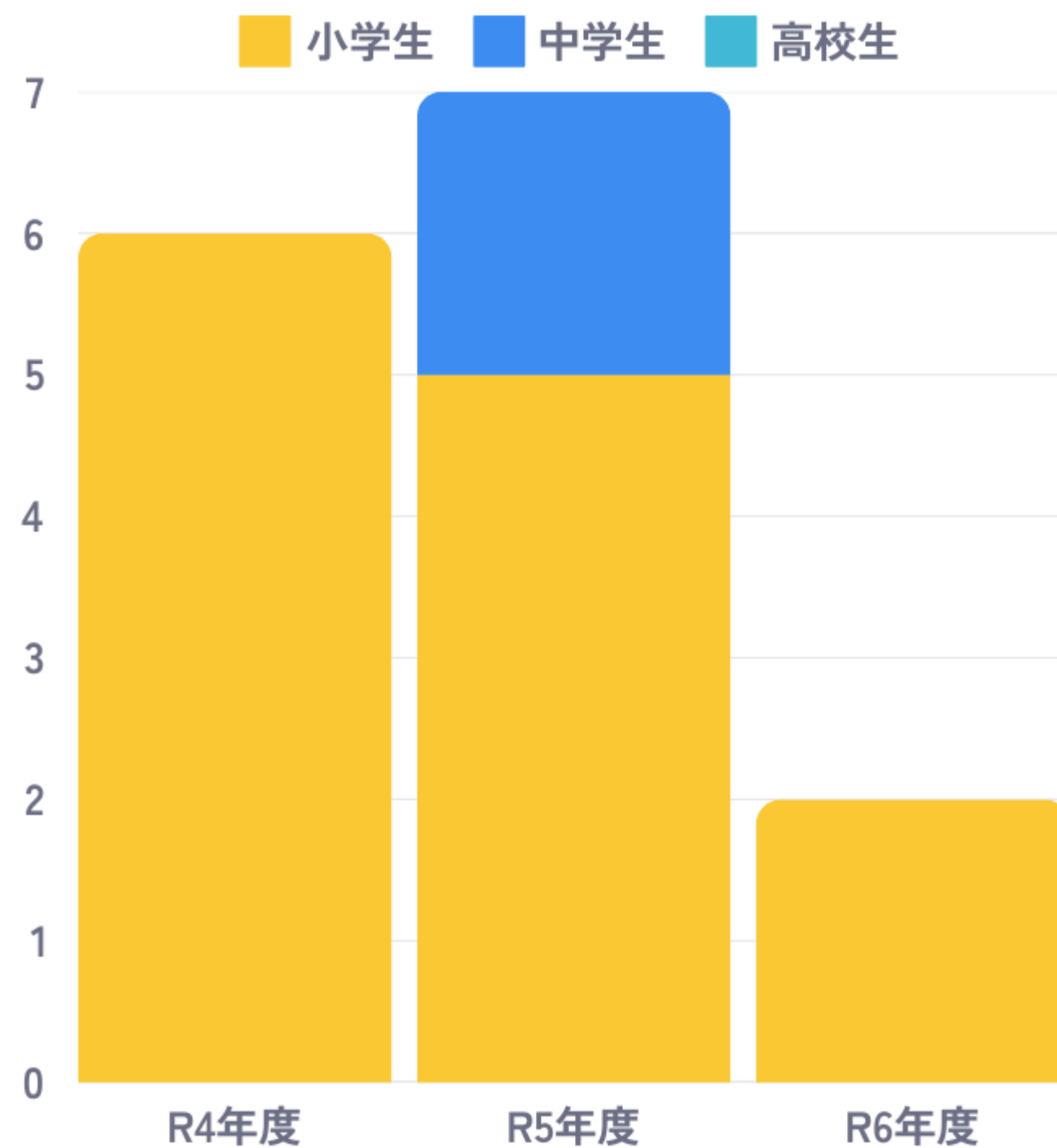
無理のないリズムで基礎学習や集団生活、人との関わり方を学んでいきます。

単純ではありますがこれが実現すればフリースクールも持続可能になり、不登校児も早い段階での復帰が見込めます。

復帰



※この流れは自殺などを未然に防いでいくという観点からも必須だと考えます。



フリースクールあんしゃから義務教育へ復帰を果たした子ども達

2021年より任意団体として活動開始し、合計15名が義務教育へ復帰を果たしております。長くいた子が学校へ復帰する瞬間は感動でいっぱいになります。

現在生徒数 小学生5名 中学生2名 高校生1名

群馬フリースクール事業の問題点



運営の問題点

生徒の義務教育復帰が喜ばしい一方で、運営は厳しくなる。

群馬県の補助は他県に比べフリースクールに対しての補助は少ないです、不登校になった家庭にフリースクール代金としての補助があれば、もっと多くのご家庭がフリースクールに通う事が出来ます、実際にスクール見学者で断念してしまうほとんどの理由がお月謝が高いという理由です。

非課税世帯などに月上限15000円二分の一以下のような条件で補助が出れば家計も圧迫されず安心してフリースクールに送り出すことが出来ると考えています。またこの補助により需要と供給が繋がれば運営は持続可能だと考えます。

実際 茨城県ではこのように対策されております。次のページ→



文部科学省の調査によると、フリースクールの月額授業料の平均額は約3万3千円、入学金の平均は約5万3千円と言われています。

別表（第2条関係）

補助金の種類	補助対象者	補助対象経費	補助率	補助限度額
運営費補助金	対象フリースクール（複数か所で本事業を実施している場合、1か所に限って補助を行う。）	フリースクールを運営するに当たり必要な経費（常勤職員の人件費、フリースクールとして児童生徒が使用する施設・建物の賃借料及び管理費、教材費、図書購入費、事務用品費、その他児童生徒を支援するために必要な経費）	2分の1以内	年間 1,000,000 円
授業料等補助金	対象通所世帯（住民税非課税世帯、要保護世帯又は準要保護世帯に限る。）	フリースクールへの通所に係る授業料等	2分の1以内	児童生徒 1人につき 1か月あたり 15,000 円

2本の柱

自分がやりたくて始めたフリースクール事業、なにかに頼るのではなく自分でそこを支えていかなきゃいけないと思い、もうひとつ事業を始めることにしました。この二つの事業が支え合って持続可能な活動になればと思いました。



桐生市境野町6丁目 就労継続支援B型チームとらねこ事業所写真

地域の方々に支えられ実現しました。

キーワードを入力 | Q

トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランキン

新着記事 | オーサー | クリエイター | コメンテーター

【足利市・佐野市周辺】桐生市境野町に、アート障害者就労訓練施設が今春開所！ 見学会のおしらせ。

 ぽいにゃん  エキスパート | 地域ニュースサイト号外NETライター（足利市・佐野市）
2/26(水) 20:01



足利市に隣接している群馬県桐生市境野町に、アートの才能を生かす障害者就労訓練施設が、2025年4月1日（火）に開所します。

チームとらねこ

就労継続支援B型事業所 立上げの背景

立上げのきっかけは多くの部分で私の考えと繋がった所にあります、不登校支援事業フリースクールあんしゃを運営している中で様々な活動団体と関わる機会があり、そこで出会った障碍を持つ方々のアートに私は衝撃と感動をもらいました、しかし絵を描くだけで彼らが生活していくことは現状むずかしいという事実を知りました、フリースクールあんしゃの子どもたちの中にも特性を持つ子はいらっしゃいますが、彼らの表現、アート、物づくりなどには魂を感じます、彼らが大人になったときにその技術を伸ばし羽ばたけるような場所があれば良いなという思いがありました、そしてまだまだ日本の社会は障碍を持つ方々が自信を持って楽しく生きていける社会ではないという事、大きすぎる目標ではありますが、彼らの天才的な技術、個性や特性を理解できる日本社会になる小さなきっかけとなればという思いで、チームとらねこを立ち上げる決心を致しました。私達には特別な影響力や、地位ありませんが、誰かがいろいろな場所でこのような一歩を踏み出していけば、障碍を持つ方々が暮らしやすい国になっていくのではないかと考えております。またこの事業がフリースクール運営の支えとなっていく事も期待しております。